

衛研第1-14号  
平成27年 7月 8日

感染症発生動向調査事業  
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当  
電話 0493-59-9325  
FAX 0493-59-9613  
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

## 感染症患者発生情報（週報）

### 埼玉県内情報 平成 27 年 第 27 週（平成 27 年 6 月 29 日～平成 27 年 7 月 5 日）

#### 今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症 9 人の届出があった。四類感染症は、レジオネラ症 4 人の届出があり、前週(1 人)より増加した。五類感染症は、アメーバ赤痢 3 人、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1 人、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 人、梅毒 5 人、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、手足口病(4.94 6.38)の定点当たり報告数は前週に引き続き増加し、警報開始基準値 5.00 を上回った。保健所別では、川越市(5.75 11.88)、東松山(9.20 13.40)、坂戸(8.50 12.17)保健所管内で大きく増加し、朝霞(8.27)、狭山(8.12)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では 1 歳が最も多く、1～4 歳で全体の 72.9%を占めている。流行性耳下腺炎(0.88 1.10)及び咽頭結膜熱(0.86 1.07)の定点当たり報告数は前週より増加し、第 21 週(5 月 18 日～24 日)以降報告数の多い状況が続いている。保健所別では、前者は越谷市(2.63 5.13)、東松山(1.80 3.20)、春日部(3.50 4.67)保健所管内で大きく増加した。後者は東松山(0.40 2.20)、本庄(1.25 2.50)保健所管内で大きく増加し、川口(2.19)、越谷市(2.00)保健所管内からの報告が多い。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎(3.78 3.91)の定点当たり報告数は前週より微増し、前年までの同時期よりやや多い状況が続いている。保健所別では、川越市(7.00)、川口(6.06)、熊谷(5.67)保健所管内で多い状況が続いている。伝染性紅斑(2.51 1.82)の定点当たり報告数は前週より減少したが、いまだ多い状況にある。保健所別では、さいたま市(5.07 4.30)、加須(3.50 2.83)保健所管内で多い状況が続いている。年齢階級別では、3～7 歳で全体の 69.8%を占めている。ヘルパンギーナ(1.11 1.46)の定点当たり報告数は、前週より増加した。保健所別では、狭山(3.82)、坂戸(3.17)保健所管内からの報告が多い。眼科定点対象疾患では、急性出血性結膜炎 1 人、流行性角結膜炎 65 人の報告があり、後者は前週(42 人)より大きく増加した。基幹定点報告対象疾患では、細菌性髄膜炎 1 人、マイコプラズマ肺炎 6 人の報告があった。

#### < 全数把握対象疾患の患者情報 >

一類感染症 報告なし

二類感染症 報告なし（結核を除く）

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 9人（病型 患者 8人、無症状病原体保有者 1人、血清型 0157 7人、026 2人）

四類感染症 レジオネラ症 4人（病型 肺炎型 4人）

五類感染症 アメーバ赤痢 3人（病型 腸管アメーバ症 3人）

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 1人（菌種 *Enterobacter* sp.）

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1人（血清群 G群）

梅毒 5人（病型 早期顕症 期 2人、早期顕症 期 2人、無症状病原体保有者 1人）

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1人

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。  
 衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613  
 e-mail: [p5349952@pref.saitama.lg.jp](mailto:p5349952@pref.saitama.lg.jp) URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。



感染症発生状況(全数把握対象疾患)  
(第27週)

(2015年 7月7日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
<b>一類感染症</b>					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
<b>二類感染症</b>					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
<b>三類感染症</b>					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		3	パラチフス		1
腸管出血性大腸菌感染症	9	56			
<b>四類感染症</b>					
E型肝炎		3	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
ウエストナイル熱			ニパウイルス感染症		
A型肝炎		9	日本紅斑熱		
エキノкокクス症			日本脳炎		
黄熱			ハンタウイルス肺症候群		
オウム病		1	Bウイルス病		
オムスク出血熱			鼻疽		
回帰熱			ブルセラ症		
キャサヌル森林病			ベネズエラウマ脳炎		
Q熱			ヘンドラウイルス感染症		
狂犬病			発しんチフス		
コクシジオイデス症			ボツリヌス症		
サル痘			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兎病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	4	27
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		7	ロッキー山紅斑熱		
東部ウマ脳炎					
<b>五類感染症</b>					
アメーバ赤痢	3	18	侵襲性肺炎球菌感染症		49
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		3	水痘*		5
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	14	先天性風しん症候群		
急性脳炎		16	梅毒	5	46
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		4
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	破傷風		2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	6	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群		14	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	2
ジアルジア症		1	風しん		4
侵襲性インフルエンザ菌感染症		7	麻しん		3
侵襲性髄膜炎菌感染症		2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1
<b>指定感染症</b>	該当疾患は無し				

水痘\* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	3			

累計は診断日で集計

\* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

保健所	感染症発生動向調査週情報										報告患者数				保健所別		平成27年6月29日～平成27年7月5日			
	インフルエンザ # 1	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	咽頭炎	咽A群溶血性レンサ球菌	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 # 2	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎 # 3	クラミジア肺炎 # 3	感染性胃腸炎 (口ウイルス)	インフルエンザ (入院)		
全	5	5	173	634	975	109	1034	295	114	1	236	179	1	65	1	-	-	-		
川	0.02	0.03	1.07	3.91	6.02	0.67	6.38	1.82	0.70	0.01	1.46	1.10	0.03	1.67	0.10	-	-	-		
朝	0.08	0.06	2.19	6.06	11.44	0.75	4.31	1.44	0.63	-	40	23	-	6	*	*	*	*		
鴻	2	1	12	61	91	10	124	15	11	-	15	9	-	2	-	-	-	-		
東	0.09	0.07	0.80	4.07	6.07	0.67	8.27	1.00	0.73	-	1.00	0.60	-	0.67	-	-	-	-		
山	-	1	16	35	74	7	77	7	5	-	5	9	-	-	*	*	*	*		
秩	-	0.08	1.33	2.92	6.17	0.58	6.42	0.58	0.42	-	0.42	0.75	-	-	*	*	*	*		
本	-	-	11	21	47	1	67	8	6	-	3	16	-	-	-	-	-	-		
庄	-	-	2.20	4.20	9.40	0.20	13.40	1.60	1.20	-	0.60	3.20	-	-	-	-	-	-		
熊	-	-	1	9	8	-	8	1	-	-	1	-	-	*	-	-	-	-		
加	-	-	0.33	3.00	2.67	-	2.67	0.33	-	-	0.33	-	-	*	*	-	-	-		
春	-	-	10	17	4	2	15	5	1	-	1	-	-	2	-	-	-	-		
須	-	-	2.50	4.25	1.00	0.50	3.75	1.25	0.25	-	0.25	-	-	2.00	-	-	-	-		
日	-	-	12	51	115	16	57	6	4	-	13	1	-	32	-	-	-	-		
部	-	-	1.33	5.67	12.78	1.78	6.33	0.67	0.44	-	1.44	0.11	-	16.00	-	-	-	-		
加	-	-	-	5	5	-	11	17	3	-	-	5	-	1	*	*	*	*		
春	-	-	-	0.83	0.83	-	1.83	2.83	0.50	-	-	0.83	-	1.00	*	*	*	*		
日	-	-	4	18	13	3	5	9	4	-	3	28	-	-	*	*	*	*		
部	-	-	0.67	3.00	2.17	0.50	0.83	1.50	0.67	-	0.50	4.67	-	-	*	*	*	*		
幸	-	-	8	28	15	13	16	20	1	-	2	14	-	1	-	-	-	-		
手	-	-	0.89	3.11	1.67	1.44	1.78	2.22	0.11	-	0.22	1.56	-	0.50	-	-	-	-		
坂	-	-	5	8	35	3	73	2	4	-	19	1	-	2	-	-	-	-		
戸	-	-	0.83	1.33	5.83	0.50	12.17	0.33	0.67	-	3.17	0.17	-	2.00	-	-	-	-		
加	-	-	10	51	46	9	58	25	10	-	5	15	-	1	*	*	*	*		
山	-	-	0.91	4.64	4.18	0.82	5.27	2.27	0.91	-	0.45	1.36	-	0.33	*	*	*	*		
狭	-	-	15	59	83	7	138	10	13	-	65	11	-	6	-	-	-	-		
川	-	-	0.88	3.47	4.88	0.41	8.12	0.59	0.76	-	3.82	0.65	0.20	1.20	-	-	-	-		
越	-	-	3	56	34	7	95	15	2	-	18	1	-	2	*	*	*	*		
市	-	-	0.38	7.00	4.25	0.88	11.88	1.88	0.25	-	2.25	0.13	-	1.00	*	*	*	*		
越	1	-	16	19	22	3	26	16	11	-	17	41	-	1	-	-	-	-		
谷	0.08	-	2.00	2.38	2.75	0.38	3.25	2.00	1.38	-	2.13	5.13	-	0.50	-	-	-	-		
さい	-	2	15	97	200	16	195	116	29	1	29	5	-	9	1	-	-	-		
たま	-	0.07	0.56	3.67	7.41	0.59	7.22	4.30	1.07	0.04	1.07	0.19	-	1.13	1.00	-	-	-		
市	-	-	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

( - : 0.00 ) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 7月 7日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第27週 平成27年6月29日～平成27年7月5日)

	年齢別																				
	合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上
インフルエンザ #1	5	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-
RSウイルス感染症	5	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	173	2	6	20	25	27	31	19	15	7	5	5	6	-	-	-	-	-	-	-	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	634	-	2	27	39	54	73	101	80	69	67	46	52	2	22	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	975	11	72	89	111	89	102	88	63	51	52	40	86	21	100	-	-	-	-	-	-
水痘	109	2	6	4	5	7	22	23	12	13	5	4	3	-	3	-	-	-	-	-	-
手足口病	1,034	9	72	277	192	149	136	81	44	19	12	14	19	-	10	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	295	-	4	6	10	35	41	36	56	38	25	15	21	-	8	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	114	3	45	57	8	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	236	1	16	64	50	37	24	11	11	7	3	7	4	-	1	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	179	-	1	5	6	26	26	29	17	29	17	14	4	1	4	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	65	-	2	2	2	3	2	4	6	1	-	1	5	1	8	16	7	1	2	2	2
細菌性髄膜炎 #2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	6	-	-	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

# 全国・関東情報

## 第 25 週

( 6月15日～6月21日 )

平成27年7月8日

インフルエンザの定点当たり報告数は第17週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.21)、鹿児島県(0.75)、山形県(0.54)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は14例と前週と比較して増加し、10府県から報告があった。

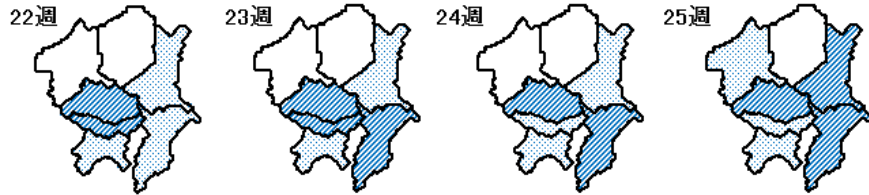
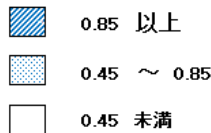
RSウイルス感染症の報告数は301例と増加した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約77%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は新潟県(2.19)、北海道(1.69)、宮城県(1.32)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(5.53)、愛媛県(5.22)、長崎県(5.16)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は大分県(15.94)、愛媛県(10.70)、宮崎県(10.50)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は大分県(0.83)、宮崎県(0.78)、富山県(0.76)である。手足口病の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は徳島県(16.09)、香川県(9.57)、山口県(7.02)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は滋賀県(2.19)、埼玉県(1.93)、大分県(1.69)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(3.06)、佐賀県(1.65)、石川県(1.31)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.20)、香川県(1.20)、大阪府(0.71)、宮城県(0.67)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は第21週以降減少が続いている。22道府県から61例報告があり、年齢別では0歳(8例)、1～4歳(36例)、5～9歳(16例)、60代(1例)であった。

### <関東情報>

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、埼玉県(1.04)、千葉県(0.92)、茨城(0.85)からの報告が多い。

### 咽頭結膜熱



平成27年 25週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 632 定点当たり 0.13	73 0.05	5 0.04	2 0.03	7 0.07	7 0.03	5 0.02	21 0.05	26 0.08
RSウイルス感染症	報告数 301 定点当たり 0.10	29 0.03	1 0.01	1 0.02	-	2 0.01	5 0.04	14 0.05	6 0.03
咽頭結膜熱	報告数 2,578 定点当たり 0.82	751 0.80	64 0.85	15 0.31	29 0.48	168 1.04	124 0.92	192 0.74	159 0.78
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 9,866 定点当たり 3.13	3,132 3.32	229 3.05	119 2.48	205 3.42	628 3.90	456 3.38	946 3.62	549 2.69
感染性胃腸炎	報告数 19,537 定点当たり 6.19	5,777 6.12	377 5.03	131 2.73	346 5.77	1,185 7.36	829 6.14	1,737 6.66	1,172 5.75
水痘	報告数 1,424 定点当たり 0.45	528 0.56	30 0.40	15 0.31	14 0.23	110 0.68	59 0.44	159 0.61	141 0.69
手足口病	報告数 11,018 定点当たり 3.49	2,359 2.50	79 1.05	182 3.79	280 4.67	434 2.70	119 0.88	721 2.76	544 2.67
伝染性紅斑	報告数 2,822 定点当たり 0.89	1,191 1.26	89 1.19	44 0.92	60 1.00	310 1.93	192 1.42	331 1.27	165 0.81
突発性発しん	報告数 2,062 定点当たり 0.65	635 0.67	30 0.40	24 0.50	42 0.70	125 0.78	87 0.64	201 0.77	126 0.62
百日咳	報告数 67 定点当たり 0.02	17 0.02	-	2 0.04	-	-	2 0.01	13 0.05	-
ヘルパンギーナ	報告数 3,476 定点当たり 1.10	538 0.57	17 0.23	12 0.25	17 0.28	105 0.65	68 0.50	156 0.60	163 0.80
流行性耳下腺炎	報告数 1,560 定点当たり 0.49	489 0.52	52 0.69	23 0.48	20 0.33	175 1.09	84 0.62	78 0.30	57 0.28
急性出血性結膜炎	報告数 11 定点当たり 0.02	10 0.05	6 0.35	-	-	2 0.05	-	2 0.05	-
流行性角結膜炎	報告数 511 定点当たり 0.75	212 1.05	14 0.82	5 0.42	28 2.00	55 1.38	46 1.35	21 0.54	43 0.93
細菌性髄膜炎 #2	報告数 7 定点当たり 0.01	1 0.01	-	-	-	-	1 0.11	-	-
無菌性髄膜炎	報告数 22 定点当たり 0.05	2 0.02	-	-	-	-	-	1 0.04	1 0.10
マイコプラズマ肺炎	報告数 126 定点当たり 0.27	22 0.27	2 0.15	3 0.43	2 0.25	6 0.60	1 0.11	7 0.28	1 0.10
クラミジア肺炎 #3	報告数 5 定点当たり 0.01	3 0.04	-	-	-	2 0.20	-	1 0.04	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 61 定点当たり 0.13	-	-	-	-	-	-	-	-

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

この情報は感染症法に基づく、感染症発生動向調査により、埼玉県衛生研究所及びさいたま市健康科学研究センターの持つ病原体検査情報をまとめたものです。今月のコメント

腸管出血性大腸菌の検出数は 6 月に入り増加し、O157 が 18 検体、O26 が 5 検体の他、O111 及び OUT が各 1 検体から検出されました。

## ウイルス分離状況

四類感染症 平成27年7月2日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体数合計			
		4月	5月	6月	累計
E型肝炎	検体数	5	3	3	15
	E型肝炎				
	検査中				
A型肝炎	検体数		1		3
	A型肝炎		1		2
	検査中				
重症急性 呼吸器症候群	検体数				
	SFTS				
	検査中				
デング熱	検体数	5	2	3	12
	デング	4	1	1	8
	検査中				

五類感染症 平成27年7月2日現在(累計:1月~)

臨床診断名	ウイルス	検出月 検体数合計				
		4月	5月	6月	累計	
咽頭結膜熱	検体数	2		3	5	
	アデノ 1	1			1	
	検査中			3	3	
インフルエンザ	検体数	4			65	
	インフルエンザAH3				42	
	" B	2			15	
	" AH1pdm09					
	アデノ 3				1	
	ライノ				1	
	ヒトメタニューモ	1			3	
感染性胃腸炎	検体数	6	10	8	47	
	ノロ		4	1	16	
	サボ				2	
	アストロ		2		2	
	ロタ(A)	1			3	
	アデノ 1				1	
	アデノ 2		1		1	
	アデノ 41	1		1	2	
	コクサッキー A10				1	
	サイトメガロ				1	
	ライノ			1	1	
	検査中			3	3	
	ヘルパンギーナ	検体数		1	4	6
		コクサッキー A2				1
" A6						
" A8						
" A10						
手足口病	検体数		2	4	6	
	コクサッキー A6					
	" A16					
脳炎・脳症 (四類以外)	検体数	9	3	6	45	
	ヒトヘルペス 6				1	
	ライノ	1			4	
	RS				2	
	単純ヘルペス 1				1	
	アデノnt				1	
検査中	インフルエンザAH3				1	
	検査中			6	6	

nt : not typed

五類感染症つき

臨床診断名	検体数	検出月			累計
		4月	5月	6月	
麻疹	麻疹	2		6	21
	ヒトパルボB19				3
	ヒトヘルペス 6				2
	ヒトヘルペス 7				1
	アデノ 31				1
風しん	検査中			6	6
	検体数		1	2	4
	風しん				1
先天性風しん 症候群	ヒトヘルペス 6			1	1
	EB				1
	検査中				
無菌性髄膜炎	検体数			6	10
	ヒトヘルペス 7				1
	ムンプス				1
流行性 角結膜炎	検査中			6	6
	検体数				
	アデノ				
流行性 耳下腺炎	検査中		2		3
	検体数				
	ムンプス		1		1
その他	検体数	43	46	58	296
	コクサッキー A6		1		1
	コクサッキー A9				2
	コクサッキー B4			3	3
	パレコ				1
	アデノ 1			1	2
	アデノ 2		2		7
	ヒトヘルペス 6	4	4	1	18
	ヒトヘルペス 7	1	1	1	15
	インフルエンザAH3	1		2	6
	インフルエンザB	1			1
	パラインフルエンザ	1	1	3	5
	RS				13
	ヒトメタニューモ	14	1		28
	ライノ	18	10	4	57
	サイトメガロ	1			7
	コロナ	4			8
	ノロ				1
	ボカ	2	2	2	6
	ヒトパルボB19		1		2
EB		1		2	
検査中			38	38	

## 細菌分離状況

平成27年7月2日現在

病原体名	分離月	4月			5月			6月			備考(6月分)
		4月	5月	6月	4月	5月	6月	4月	5月	6月	
三類	赤痢菌										S. sonnei : 1
	チフス菌										
	パラチフスA菌										
	コレラ菌										
腸管出血性大腸菌O157	腸管出血性大腸菌O157	6	1	18							H7(VT1&2) : 11, H検査中(VT1&2) : 3, H-(VT2) : 2, H検査中(VT2) : 2
	腸管出血性大腸菌O26			1			5				H11(VT1) : 2, H-(VT1) : 1, H検査中(VT1) : 2
	腸管出血性大腸菌その他	1					2				OUT:H-(VT1) : 1, O111:H検査中(VT1&2) : 1
四類	レジオネラ菌										
五類	肺炎球菌					1					Streptococcus pyogenes(T12) : 1 Streptococcus agalactiae(劇症型) : 1 Neisseria meningitidis(侵襲性髄膜炎菌感染症) : 2
	百日咳菌					1					
	VRE										
	MRSA								3	2	
	溶血性レンサ球菌										
その他	1				1				2		



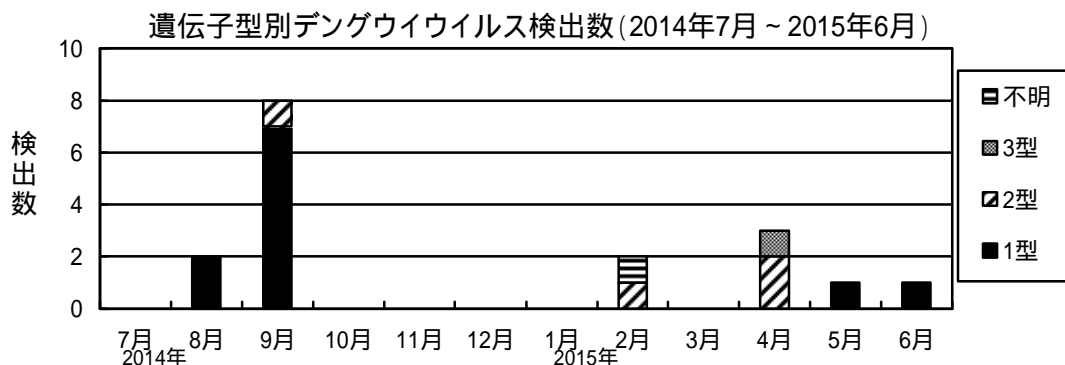
## デング熱

デング熱は、アジア、中南米等の熱帯・亜熱帯地域で広く流行している感染症で、デングウイルスを保有したネッタイシマカやヒトスジシマカの刺咬により感染します。日本では、ヒトスジシマカが広範な地域に生息しており、媒介蚊となります。2012年以降、海外で感染した輸入症例が全国で毎年200例前後報告されてきましたが、2014年8月には東京都内での感染が疑われる症例が確認され、10月までに約160症例が報告されました。

デング熱はウイルスに感染後2～15日（多くは3～7日）の潜伏期の後、突然の高熱で発症し、筋肉痛、関節痛を伴うことが多く、発症後3～4日後に赤い小さな発疹が出現します。また、高度の血小板減少もしばしばみられます。ほとんどの症例は1週間程度で回復しますが、まれに重症化して、出血、ショック症状を呈するデング出血熱となる場合があります。類症鑑別が必要な疾患として、チクングニア熱、麻しん、風しん、パルボウイルス感染症などがあります。

デング熱は4類感染症（全数把握）であり、診断後直ちに届け出ることが医師に義務付けられています。届け出基準は2014年1月に一部変更され、IgM抗体の検出にはペア血清による抗体陽転又は抗体価の有意な上昇を確認することが必要となりましたので、御注意ください。

埼玉県衛生研究所及びさいたま市健康科学研究センターでは、デングウイルスの遺伝子検査・NS1抗原検査を実施しています。遺伝子検査ではデングウイルスの血清型別（1～4型）が可能です。2014年7月から2015年6月までに17件のデングウイルスが検出されました（下図）。2014年8月と9月に検出されたデングウイルス1型9件は海外渡航歴がなく、国内での感染が疑われる症例でした。残り8件はインドネシア（2型3件、3型1件、不明1件）、マレーシア（1型1件、2型1件）、フィリピン（1型1件）への渡航歴があり、海外での感染が疑われる症例でした。



総合トップ > 県政情報・統計 > 県概要 > 組織案内 > 保健医療部 > 保健医療部の地域機関 > 衛生研究所 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2015年 > 感染症の流行状況 2015年 第27週

感染症発生動向調査 2015年

[感染症の流行状況 2015年 第1週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第2週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第3週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第4週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第5週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第6週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第7週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第8週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第9週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第10週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第11週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第12週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第13週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第14週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第15週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第16週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第17週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第18週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第19週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第20週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第21週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第22週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第23週](#)

[感染症の流行状況 2015年 第24週](#)

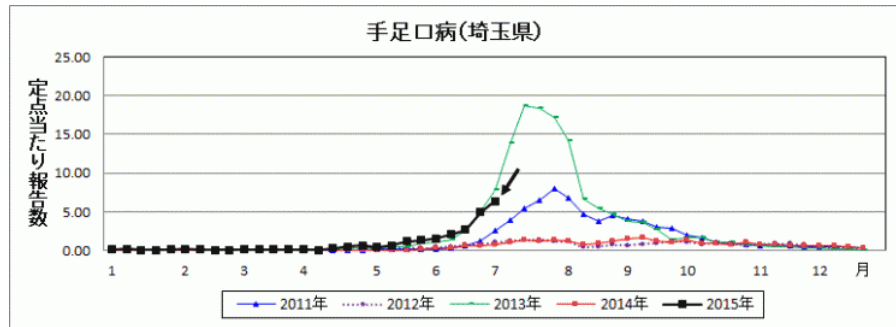
[感染症の流行状況 2015年 第25週](#)

感染症の流行状況 2015年 第27週

2015年第27週（平成27年6月29日～7月5日）の要点 平成27年7月8日

手足口病の定点当たり報告数は、前週に引き続き増加し、警報開始基準値（定点当たり：5.00）を超えました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
<a href="#">インフルエンザ</a>			<a href="#">伝染性紅斑</a>		
<a href="#">RSウイルス感染症</a>			<a href="#">突発性発しん</a>		
<a href="#">咽頭結膜熱</a>			<a href="#">百日咳</a>		
<a href="#">A群溶血性レンサ球菌咽頭炎</a>			<a href="#">ヘルパンギーナ</a>		
<a href="#">感染性胃腸炎</a>			<a href="#">流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)</a>		
<a href="#">水痘(みずぼうそう)</a>			<a href="#">急性出血性結膜炎</a>		
<a href="#">手足口病</a>			<a href="#">流行性角結膜炎</a>		

\*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。 \*2.推移は2週間前からの傾向を示します。( :増減無し、 :増加、 :減少) \*3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい、 、 大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン

お問い合わせ

保健医療部 衛生研究所 感染症疫学情報担当

郵便番号355-0133 埼玉県比企郡吉見町江和井410番地1

電話：0493-59-9325

ファックス：0493-59-9613

お問い合わせフォーム

より良いウェブサイトにするためにみなさまのご意見をお聞かせください